

## ワクワクする授業づくり

～「探究的な学び」を軸に～

総合的な探究(学習)の時間などを中心として、問題発見・解決能力を育む「探究的な学び」を充実させていく。子供が知的好奇心を原動力とし、探究のプロセス(課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現)を経ながら、自らの考えや課題を更新していくような学習機会を多く設定する。「探究的な学び」を軸に、幼稚園から高等学校まで、子供の育ちと学びをつなげていく。

## 特別支援教育の充実

～すべての子供の成長を促すために～

個々の教育的ニーズに応じ、学校・保護者・子供の合意の基で、実施可能な合理的配慮や適切な支援を充実させ、自立と社会参加に必要な力を育む。そのために、校内外支援体制をさらに強化し、すべての子供が生き生きと学校生活を送れる環境を学校園全体で整えていく。



# 令和7年度 ✨ 学校園教育指針

姫路市では、令和7年度(2025年度)から5年間の方向性を示す「第3期姫路市教育振興基本計画」を策定しました。

「未来をひらく ふるさと姫路の人づくり

～すべての人が自分らしく学び、

つなげる教育を目指して～」を基本理念に、

学校教育の充実と魅力化を図ります。この指針は、同計画に基づき、各学校園との協働実践のために作成しています。

## ✦5つの重点項目

### 魅力ある学校づくり

～心の通い合う生徒指導の推進～

近年、いじめや不登校、問題行動、児童虐待等、生徒指導上の課題が多様化している。とりわけ、いじめや不登校については、未然防止の取組として「魅力ある学校づくり」を推進するとともに、ICTを活用した個別支援の充実及びスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家と連携した「チーム学校」による組織的対応の徹底を図るなど、心の通い合う生徒指導に取り組んでいく。

## 教育DXの推進

～デジタル学習基盤の活用を前提とした学びの変革～

1人1台端末やクラウドサービス等の活用を前提として、確かな情報活用能力を育み、子供が自分自身の可能性を広げたり、他者と協働することでお互いを高め合ったりする学びを実現する。また、多様なニーズのある子供に対応する観点も含め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組む。

## 働き方改革の推進

～教職員が子供の教育に注力できる環境の構築～

教育の質の向上を図るため、会議や学校行事の縮減・精選、外部人材の活用、ICT活用による校務・業務の効率化により、教職員が子供と向き合う時間を確保する。また、部活動の地域展開をはじめとした教職員の業務の適正化や、超過勤務時間の削減への取組を進めるとともに、教職員の協力・協働によりストレスを抱え込まない働きがいのある職場環境づくりを進める。